

明るい子 かしこい子 たくましい子

元気がある 夢がある 楽しい学校 中央小



中央小だより

令和7年度 6月号

蕨市中央 6-8-25

TEL 442-2672

学級数	13
児童数	381名

日常のなかでの成長

校長 板橋 利行

先月は日照時間が例年より短いということを気象情報で耳にしましたが、確かに気持ちよく晴れた日は少なく、週末に天気が崩れていきました。間もなく梅雨の季節を迎ますが、体調管理に気を遣いつつ、1学期の後半に向けて元気に過ごしたいところです。

成長過程だからこそ

4月から2か月が過ぎ、多くの児童は学校生活に馴染み、安定した生活を送っているようです。しかし、その一方で、この時期は登校を渋ったり、ルールやマナーなど規範意識の低下が見られたり、いじめや友達とのトラブルが起こったりすることがあります。子供の成長過程におけるこれらのこととは、どの学校でも起こり得るものです。

実際に、本校でも学級内のことや放課後の遊び、SNSのやり取りなどについて、担任などが直接見かけたり、相談を受けたりしたことから当該児童に話を聞いたり、指導したりしています。心がけてるのは、関係している子供から丁寧に話を聞くことです。そして、こうした際には、ご家庭へも連絡しています。「学校から電話がかかってくると不安になる」ということも時々耳にしますが、確かによい話の電話は少ないかも知れませんので、お気持ちはお察しします。ただ、何があったのかを共有し、今後はどうしていくべきかについて一緒に考え、子供に同じベクトルで指導していくために、このことは欠かせません。

先週の学校朝会で子供たちにも話したのですが、やってしまったことは戻せません。よくないこと、悪いことであったならば、反省し、同じ失敗を繰り返さないために意識したり、努力したりすることが大切です。失敗から学ぶことも成長です。朝会では、「誰かの失

敗」からも学ぶとよいことも話しました。

学校では、普段からいじめや登校に意欲が向かないなどの子供の様子に留意し、児童一人一人がよりよい学校生活を送れるよう努めていますが、それでも気付けないこともあります。そのため、お子さんのことで気になることがありましたら、担任等へご連絡ください。早く対応することで解決・解消も早まることが多いので、ご協力を願います。

引き渡し訓練を終えて

先月2日の引き渡し訓練へのご協力をありがとうございました。引き渡し基準の「震度5弱」は、いつ起きてもおかしくない状況と考えています。そこで、市教委の指導もあり、引き渡しについては、校庭から校舎内に見直しました。実際に大地震が起きたとき火災等がなければ耐震化された校舎内で待機させることが基本になります。今回は、余震が起こることも想定しての実施でしたが、「机の下に入って頭を守る」という基本行動が自分の判断ができるようにしていかなくてはなりませんので、継続的に指導していくことになります。

引き渡す際の動線については、校舎内をできるだけ一方通行化して計画し、メールを受信してからの行動と言うことで、保護者の皆様にもご協力いただきました。今後も有事に備えた持続可能な訓練の形を模索していきます。

今月からは1学期も後半になります。学校では、子供たちが安心してよりよい学校生活を送れるよう支え、導いてまいります。保護者・地域の皆様には、引き続きご協力を願います。